事業系一般廃棄物実態調査【その②】

# （アンケート調査）

|  |  |
| --- | --- |
| 調査票番号 |  |
|  | 本調査票も御返送ください。 |

## 〇ごみの減量化等について

|  |
| --- |
| 問１．貴事業所では、ごみの減量化（排出抑制、減量化、再使用、リサイクル、代替素材の利用等）に取り組んでいますか。該当する番号１つに○印をつけてください。 |
| １　取り組んでいる ２　今後取り組む予定がある ３　取り組んでいない |

|  |
| --- |
| 問２．**問１で、１又は２に○印をつけた方**にお聞きします。それはどのような取り組みですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。（複数選択可） |
| （１）体制の整備１　排出抑制やリサイクルに関する社内での目標や計画の設定２　TEAS（鳥取県版環境仮システム）、ISO14001などの環境マネジメントシステムの導入３　環境配慮（廃棄物対策）部署、担当者等の設置４　社員向けの学習会や研修会などの開催５　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （２）減量化のための取組等１　リターナブルびんや詰め替え品等の再使用できる容器、製品の導入２　簡易包装の導入３　廃棄物の分別の徹底４　リサイクルが可能な業者へ処理委託業者を変更５　エコマーク商品や環境配慮商品を購入、又は販売している。６　売れ残りを削減するため、販売管理や在庫管理の徹底７　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

|  |
| --- |
| 問３．ごみの減量化（排出抑制、減量化、再使用、リサイクル、代替素材の利用等）に取り組むにあたって、課題は何ですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。（複数選択可） |
| １　どのように取り組んだらよいのかわからない。２　保管場所や分別場所等の場所の制約がある。３　社内体制の整備４　人手不足５　コストの増加６　経済的又は社会的なメリットが感じられない。７　単独で企業が実施しても社会全体のごみの排出量からみれば、規模が小さいため、実施する意義が感じられない。８　リサイクル業者がわからない。９　特になし10　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

|  |
| --- |
| 問４．食品ロス（※1）ついて「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。該当する番号１つに○印をつけてください。 |
| １　よく知っている　　　　　　　　　　２　ある程度知っている３　あまり知らない　　　　　　　　　　４　全く知らない |

※１：食品ロスとは、まだ食べられるが、様々な理由（販売期限切れ、包装のキズ、賞味期限切れ、食べ残し等）で廃棄となる食品のこと。

**問５以降は、以下の業種の事業者のみ御回答ください。**

食品製造業、飲食料品卸売業、飲食料品小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉のうち、食料品を取り扱っている事業者と、自社で食事の提供を行っている（社員食堂などを外注している場合を除く）事業者

## 〇食品ロスの発生状況について

|  |
| --- |
| 問５．貴事業所（店舗）において、食品ロスは発生していますか。該当する番号１つに○印をつけてください。 |
| １　食品ロスが発生している　 ２　食品ロスは発生していない |

|  |
| --- |
| 問６．　**問５で、１に○印をつけた方**にお聞きします。食品ロスが発生する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。（複数選択可） |
| １　商習慣の期日を過ぎたことで販売できなくなったため２　包装の傷・へこみにより販売できなくなったため３　在庫あるいは生産過剰のため４　調理時、不可食部分を取り除く際に可食部分を多めに除去するため５　顧客や利用者、患者等が食べ残したため６　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

## 〇食品ロスへの取り組み状況について

|  |
| --- |
| 問７．食品ロスを削減のために、事業所（店舗）として取り組んでいますか。該当する番号１つに○印をつけてください。 |
| １　取り組んでいる　　 ２　取り組んでいない　３　今後、取り組む予定である　　 ４ 今後も当面取り組む予定はない |

|  |
| --- |
| 問８．**問７で、１又は３に○印をつけた方**にお聞きします。それはどのような取り組みですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。（複数選択可） |
| １　商習慣の見直し２　需要予測の向上３　賞味期限表示の見直し４　少容量製品・小盛りメニューの販売５　セット商品のバラ売り６　賞味期限間近の食品の値引き販売７　賞味期限間近の食品を買い取る業者への引き渡し８　調理ロス削減の工夫９　食べきりの呼びかけ10　余った料理の持ち帰りへの対応11　余剰食品のフードバンク団体（※２）への寄付12　食品ロス削減に関する従業員への啓発13　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

※２：フードバンク活動とは、賞味期限内にもかかわらず、様々な理由により販売が困難となった商品や、家庭などで使われずに貯まっている食品の寄付を受けて、福祉施設や食べ物に困っている方々に無償で提供する取組。フードバンク団体とは、フードバンク活動を行っている団体のこと。

|  |
| --- |
| 問９．**問７で、２又は４に○印をつけた方**にお聞きします。それはどのような理由ですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。（複数選択可） |
| １　食品ロスは発生していない２　食品ロス削減の必要性がわからない３　コストに対して利益が少ない４　社内体制が整っていない５　品質管理６　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

|  |
| --- |
| 問10. 食品ロス削減に取り組むに当たっての課題は何ですか。該当する番号１つに○印をつけてください。 |
| １　どのように取り組んだらよいのかわからない２　社内体制の整備３　コスト増４　品質管理５　消費者の意識６　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

## 〇食べ残しの持ち帰りについて

|  |
| --- |
| 問11.　貴事業所（店舗）では、お客様が食べきれなかった料理の持ち帰りについて、対応されていますか。（１つだけ選択） |
| １　はい　　　　　　２　いいえ３　対象外 |

|  |
| --- |
| 問12.　問11で「２　いいえ」を選択された方へ伺います。お客様が食べきれなかった料理の持ち帰りに対応されていない理由は次のどれですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。（複数回答可） |
| １　食中毒の懸念のため取組として実施していない。２　お客様からの要望がないため３　手間がかかるため４　料理の質が低下するため５　その他 |

## 〇フードバンク活動（※２）について

|  |
| --- |
| 問13.　フードバンク活動を御存じですか。 |
| １　よく知っている２　ある程度知っている３　あまり知らない４　全く知らない |

|  |
| --- |
| 問14.　製造、流通、または販売過程で生じた食べられる食品ロスを、フードバンク活動へ参加する機会、又は、フードバンク活動を実施する団体等との接点をもつ機会等があれば、参加されますか。 |
| １　参加利用したい。２　検討する。３　利用しない。 |

## 〇「食品ロス削減に関するアプリ等」（※３）について

※３：「食品ロス削減に関連するアプリ等」とは、「閉店時間や賞味期限等の理由で廃棄寸前の食品」や「規格外商品等」をフードシェアリング（飲食店や商店等と消費者のニーズをマッチングさせる仕組み）して、販売するためのアプリやインターネットサイトのこと。鳥取県内でも取り入れている飲食店や商店等がある。

|  |
| --- |
| 問15.　 貴事業所（店舗）では、食品ロス削減に関するアプリ使用したことがありますか。（１つだけ選択）。 |
| １　使用したことがある２　使用したことはないが、存在は知っている３　使用したことはなく、存在も知らない |

|  |
| --- |
| 問16.　問15で「２　使用したことはないが、存在は知っている」「３　使用したことはなく、存在も知らない」を選択された方へ伺います。貴事業所（店舗）において、「食品ロス削減に関連するアプリ等」の仕組みを、今後、使用してみたいと思いますか。（１つだけ選択）。 |
| １　使用してみたい２　使用しない |

以上、御協力ありがとうございました。